



健康事業団だより

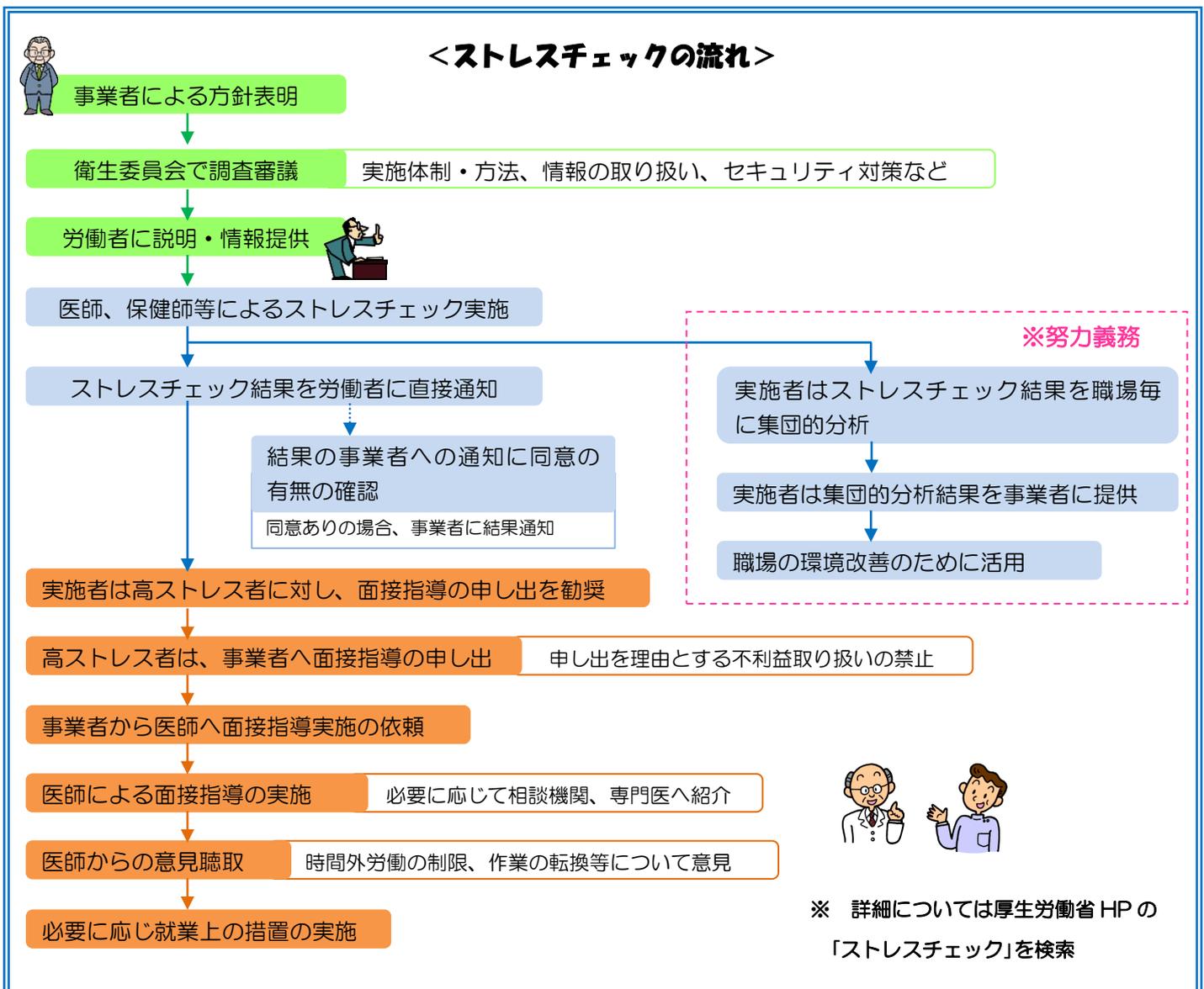


昨年 12 月 1 日のストレスチェック開始から半年余りが経過し、実施した事業所もあれば、11 月までに実施予定という事業所もあることでしょう。ストレスチェック実施前には、衛生委員会での審議等の事前準備やストレスチェックを委託するかどうか、実施後も高ストレス者へのフォローなど整備しておくこともたくさんあります。ストレスチェックの主な流れについて確認しておきましょう。



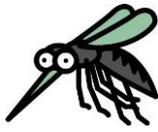
ストレスチェックについて

ストレスチェックは、事業所における事業者による労働者のメンタルヘルスクアにおける「一次予防」として行われるものです。これは、労働者自身のストレスへの気づき、対処の支援ならびに職場環境の改善を通じて、メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的としています。



※なお、当健康事業団でも、外部委託により実施できる体制を整備しています。

見積もり等ご相談は、健康事業団 健診事業課までお問い合わせください。



蚊が媒介する感染症に注意を

今年のオリンピックの開催で世界的にも有名となったジカ熱、一昨年国内の都市部で流行したデング熱など蚊が媒介する感染症はいくつかあります。中でも毎年、日本での感染者が認められているのが**日本脳炎**です。

日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスによって起こるウイルス感染症です。人から人への感染はなく、ブタなどの動物の体内で増殖した後、そのブタを刺した蚊(主にコガタアカイエカ)などが人を刺すことによって感染します。感染者(ヒト)を刺した蚊に刺されても感染することはありません。

患者発生は西日本に多く、蚊の発生時期である夏から秋にかけて報告されています。

潜伏期間 : 6~16 日間

症状 : 数日間の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、引き続き急激に、光への過敏症、意識障害(意識がなくなること)、けいれん等の中枢神経障害(脳の障害)を生じます。

発病率 : 感染者約 1,000 人に 1 人

致死率 : 脳炎を発症した場合 20~40% (幼児や高齢者では危険が高くなります)。

【患者発生状況(人)】

	全国	長崎
H23	9	2
H24	2	0
H25	9	1
H26	2	0
H27	2	0
*H28	0	0

*H28 は H28.7.24 現在

国からの予防接種の接種控えがあった年齢は要注意

日本脳炎の予防接種後に重い病気になった事例があったことをきっかけに、平成 17 年 5 月 30 日~平成 22 年 3 月 31 日まで、日本脳炎の予防接種の案内が行われていませんでした。(いわゆる「積極的勧奨の差し控え」)

その後、新たなワクチンが開発され、現在は、日本脳炎の定期予防接種と通常どおり受けられるようになっていきます。このため、平成 7~18 年度に生まれた方は、日本脳炎の予防接種(2 期接種)を受ける機会を逃していることがありますので、母子手帳などを確認するとともに、市町からの案内に沿って接種を受けるようにしましょう。

現在奨励されている予防接種の標準的な接種スケジュール

1 期接種(計 3 回)	3 歳の時に 2 回(6~28 日の間隔をおく) その後おおむね 1 年の間隔をおいて(4 歳の時に)1 回
2 期接種(1 回)	9 歳の時に 1 回



戸外で過ごす時は、**長袖・長ズボン**の着用や虫除けスプレーを活用するなど蚊に刺されない工夫を心がけましょう!!

平成 28 年 8 月 2 日、セアカゴケグモが長崎県(大村市)で発見されました。

セアカゴケグモやハイロゴケグモは毒を持っています。疑わしいクモを発見した場合には、素手で捕まえたり、触らないように注意し、殺虫剤などで駆除したうえで長崎県自然環境課(095-895-2381)にご連絡ください。

セアカゴケグモなどの特徴

- ・毒を持っているのはメスのみ。成熟したメスの体長は約 0.7~1.0cm。
 - ・全体が光沢のある黒色で、腹部は大きな球状。
 - ・腹部の背面に赤色の縦条、腹面に赤色の砂時計型~菱型の斑紋。
 - ・生息場所は日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、隙間に営巣します。
- (自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など)



セアカゴケグモ ハイロゴケグモ

[環境省・長崎県自然環境課 HP 参照]



公益財団法人 長崎県健康事業団

〒859-0401 諫早市多良見町化屋 986-3

TEL 0957-43-7131 (代表) FAX 0957-43-7139

<http://www.npmhc.jp>